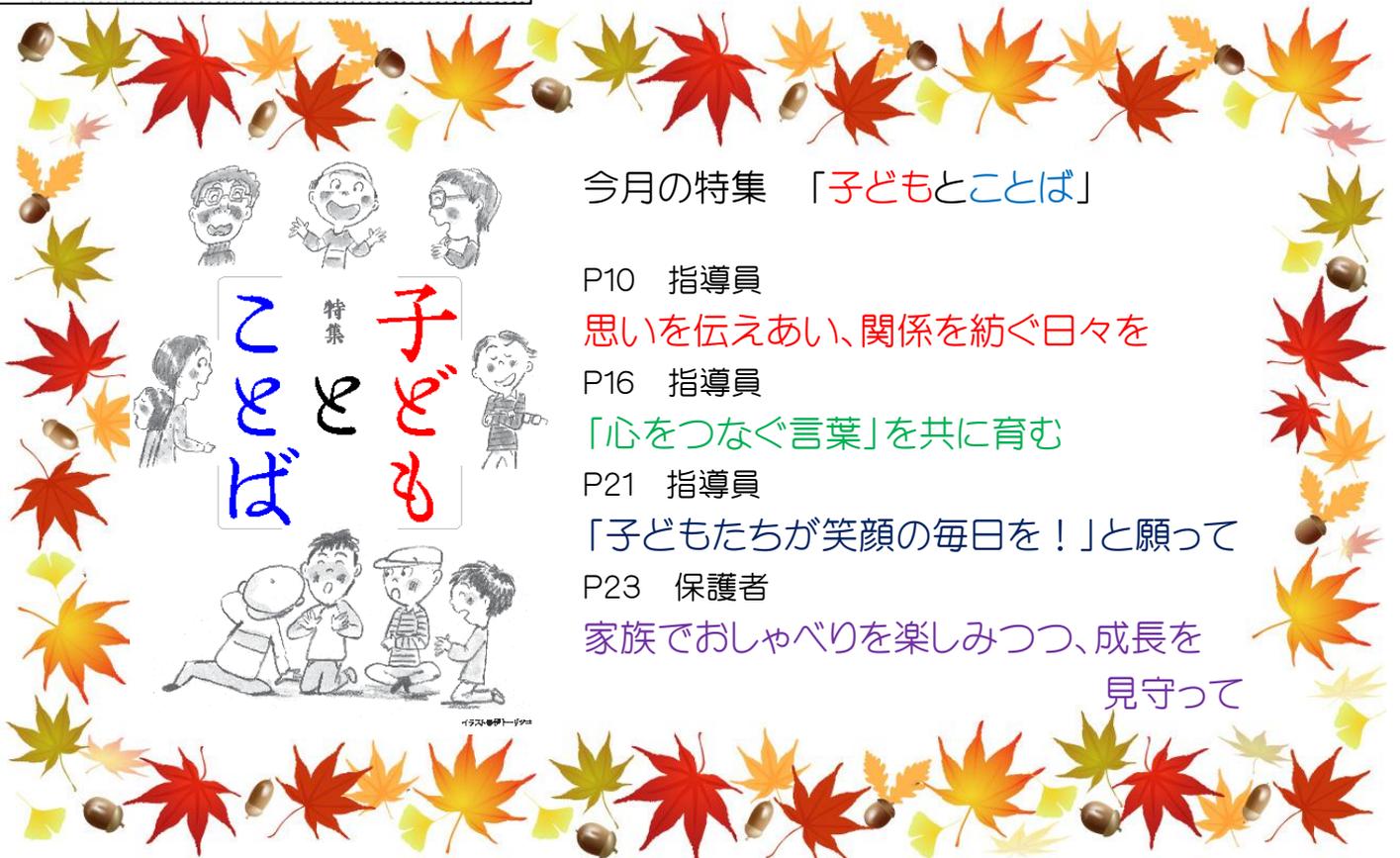


福岡県学童保育連絡協議会
11月号担当:やなぴよん



今月の特集 「子どもとことば」

P10 指導員

思いを伝えあい、関係を紡ぐ日々を

P16 指導員

「心をつなぐ言葉」を共に育む

P21 指導員

「子どもたちが笑顔の毎日を！」と願って

P23 保護者

家族でおしゃべりを楽しみつつ、成長を
見守って



～ホームページより～

今回の特集では、子どもが言葉を獲得していく過程について学ぶとともに「子どもが生活のなかでさまざまな言葉を獲得していく様子」について保護者・指導員の経験を交流し、「子どもたちが言葉を育むうえで大切にしたいこと」について考えあいます。

10月号からの連載講座 「食による子どもの育ちを考える」

②「食」で人と人がつながる

宮城学院女子大学 平本福子

第2回は「共食」を取りあげ、「食」で人と人がつながることについて考えてみたいと思います。

～「共食」は一緒に食べることだけではありません。子どもに「共食」のよさを伝えるために、私たちおとなのやわらかい知恵が求められています。(P40～51より)



私のオススメ！ 麵レシピ🎵

このコーナーでは、読者から寄せられたレシピを紹介しています。

11月号は冷たい麵レシピを中心に紹介(P57～)。

どれも手軽に作れて
おいしそう😊

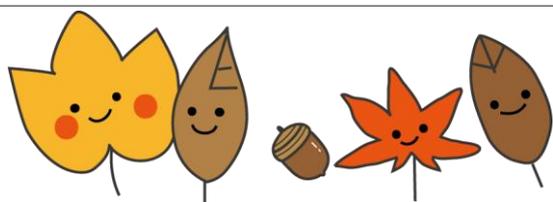


「日本の学童はいく」誌は、日本中の選抜された保護者、指導員、学童保育研究者の方々との編集会議をもとに、学童保育に特化して構成して作られた唯一の月刊誌です。

福岡県連協は、この月刊誌をぜひ、たくさんの保護者、支援員、学童保育関係者の方々に読んでいただきたいと思い、見どころ【ひらいてみちゃりい】を配信することにしました。

毎月、担当を変えて、それぞれの視点から、見どころを紹介していきますので、是非購読申し込みをお待ちしております。

申込先:福岡県学童保育連絡協議会
FAX(093-662-6006)
TEL(093-662-6000)



やなびよんの胸キュンコーナーは…

保護者の方の学童への思いがつつづられている「出会い 集い 父母会(P60)」
今月は滋賀県湖南市の保護者の方の投稿です。タイトルは

『心を寄せあい「はねっこクラブ」を守れるように』

投稿された方は「役員としての活動が貴重な経験になった」とのこと。

コロナ禍で今後の運営が危ぶまれる状況の中でも「親と子の居場所である『はねっこクラブ』を現状のまま運営できるように…」の役員共通の思いで指導員と共に学校に協力を求め市にも働きかけを行って、状況が良い方向に動いて本当にうれしく、安堵されたそうです。

これからも「皆で心を寄せあって考えればきっと気持ちが届くし、よい方向に向かえるのではないかと…」
私もそう思います



11月号の「ひらいてみちゃりい」を担当することになって、はずかしながら初めて隅から隅まで読みました。

ひとつひとつの内容がよく考えられ丁寧に編集され、読み終わった後は大きな研修会に参加したかのような充実感、そしてやる気が湧いてきました。

これからは毎号きっちり読ませて頂きます!

by やなびよん